

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	本梅町	本町における町づくりの展望や課題、及び要望 ①今後の当地区の町づくりについて 若者や子供たちが住み続けたいと思える街づくりのために雇用機会と交通アクセスの充実が求められる。	「公共交通網形成計画」の策定に向けて各自治会にヒアリングを実施しているところです。ふるさとバスの一部コースでは、土休日にガレリアかめおかまで延伸運行を実施しており、利便性向上に繋がっていると考えます。今後も更に多くの方の利用を呼び掛けていただければと思います。	まちづくり推進部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
2	本梅町	本町における町づくりの展望や課題、及び要望 ②本梅保育所の今後について 統合時期の判断基準と今後の展望、「認定こども園」の検討内容等について。	3歳児又は4歳児クラスが5人未満になるか園児数が20人未満となった場合に統合します。認定こども園等は、平成32年度以降の次期計画の中で今後のニーズを見込み、提供体制を検討してまいります。	健康福祉部 子育て支援担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
3	本梅町	本町における町づくりの展望や課題、及び要望 ③本梅小学校の今後について 「亀岡市学校規模適正化基本方針」における育親中学校ブロックについて、最近の情勢について。	平成26・27年度で策定した基本方針で、育親中学校ブロックは、3～6年の中期スパンの中で対応することとなっている。どのような教育環境が良いかなど、皆さんとともに検討していきます。	教育部長	③検討	育親中学校ブロックの教育環境の充実を図るために、保護者や地域住民、自治会等と共に考えながら、子どもたちにとってより良い環境づくりを進めていくことが不可欠であると考えています。
4	本梅町	本町における町づくりの展望や課題、及び要望 ④農業・林業の展望 振興方針や、農地を引き継いでいくための支援策、後継者育成に係る国と府の制度の現況、カンントリーエレベータ移転後の策に関する考えは。	豊かな森林資源を活用して、定住促進と都市部との交流促進を目指します。また、従来の補助事業や、集落営農を支援する新規事業もあります。それぞれ検討が必要であり、支援を行っていくに当たり行政関係機関がチームを設置して対応してまいります。治山事業については、一部引き続き要望をお願いしたいと考えます。	産業観光部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
5	本梅町	本町における町づくりの展望や課題、及び要望 ⑤有害鳥獣対策について JAと市の連携はあるのか。南丹市等で導入された撃退器について亀岡での予定はあるのか。捕獲補助金、対象品種拡大等をお願いしたい。	現在、猟友会に業務委託をしており、活動地域の棲み分け等のこともあり、連携は行っていません。撃退器は必ずしも効果が見られたわけではなく、導入には検討が必要となります。捕獲については、法律に基づく特定外来生物に限定されていることから、拡大予定はありません。	産業観光部長	③検討 ⑤困難	こん談会での回答のとおりです。
6	本梅町	主要道路・河川等の整備について ①国道477号線井手地区内から東加舎地区学遊館までの歩道確保 歩道確保に向けた工事がスタートした。今後も登下校の安全確保に向けた取組をお願いしたい。	すでに関係機関に整備要望を行っており、事業計画もまとまり、歩道については現在自治会から用地買収・補償等の交渉が進められています。今年度秋頃の完成に向けて、引き続き施工、買収交渉していくとのことなので、事業の円滑な進行については、京都府に要望してまいります。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
7	本梅町	主要道路・河川等の整備について ②府道天王・亀岡線拡幅改良・歩道設置 測量は実施済み。早期取組をお願いしたい。	関係地権者の同意を得ており、ほ場整備事業とあわせて道路の計画を立てていますが、圃場整備事業区域外として用地買収いただく形となっています。自治会とほ場整備推進協議会より京都府南丹土木事務所に対して引き続き要望いただきたく思います。	産業観光部長 まちづくり推進部長	⑤困難 ④要望	府道天王亀岡線については、ほ場整備区域外であるため、引き続き京都府南丹土木事務所に要望をお願いします。こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	本梅町	主要道路・河川等の整備について ③主要地方道宮前千歳線(鳴滝工区)の道路改良整備早期実現 完成年度の見通しの明確化	府道宮前千歳線は重要な幹線道路ですが、鳴滝工区間は幅員狭小で整形不良のため、通行の安全に支障が出ています。平成31年度の完成に向け、平成30年度においては、平成29年度から繰り越している橋梁下部工及び道路築造工、橋梁上部工を実施予定としています。 早期完成に向けた事業推進を働きかけてまいります。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
9	本梅町	主要道路・河川等の整備について ④市道の拡幅 「市道平松中ノ道線」と「国道477号線」の交差点手前の道路隔づくが、本年4月末に完成した。				
10	本梅町	主要道路・河川等の整備について ⑤道路規制による安全対策 旧372号線と府道天王・亀岡線との交差点の接続付近にセンターラインポール設置により亀岡方面への進入規制が完了した。				
11	本梅町	主要道路・河川等の整備について ⑥道路反射鏡の設置 「市道東加舎線」と「国道477号線」合流交差点は、通学路になっており。安全確保のために道路反射鏡の設置が必要である。	交通安全施設整備工事については市内各所から数多く要望をいただいております。緊急性の高い箇所や自治会からの優先順位の高い箇所から実施しているところです。指摘箇所のカーブミラーについては、本梅町の優先箇所と聞いているため、設置する方向です。	まちづくり推進部長	①実施	平成30年度、要望箇所について設置しました。
12	本梅町	主要道路・河川等の整備について ⑦市道の拡幅 ほ場整備対象外である「国道477号線」と「市道磐ノ上線」の交差点付近の区間の拡幅をお願いします。	通常の通行にも支障があることを認識していますが、用地等地域の協力が不可欠であるとともに、実施中の国営事業と連携した整備が必要です。市農地整備課と地元自治会関係者と事業手法について調整しつつ事業化を検討します。要望の150mの内80mはほ場整備工事で拡幅済みです。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
13	本梅町	主要道路・河川等の整備について ⑧国道477号西加舎区前ヶ芝地区から中野区に至る路面改良 土地区画整備等に係る大型車両の通行急増により。地域住民の生活に支障が出ているので改善をお願いします。	大阪府内の土砂崩れによる国道173号全面通行止めについては、夏頃には解除できるよう工事が進められています。国道477号は、管轄している京都府南丹土木事務所へ地元とともに対応を働きかけていく。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
14	本梅町	主要道路・河川等の整備について ⑨砂防河川の護岸改良 昨年度の台風により護岸被害が発生し、災害被害申請したが採択されなかった。雨期における被害拡大防止のための対策をお願いしたい。	倒木による河川護岸の崩壊及び石積みの流出があるものの、災害復旧工事の対象とはならないため、維持修繕工事として対応できるよう予算確保等実施に向けて取り組んでいく。	まちづくり推進部長	②実施予定	平成30年7月豪雨によって当該区間については被災範囲が拡大し災害案件となりましたので、災害復旧工事により復旧予定です。尚、普通河川北川河川災害復旧工事は2月下旬に業者決定予定です。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
15	本梅町	主要道路・河川等の整備について ⑩市道中野亀岡線サークルK付近の側溝改良 修繕の実施について検討するとの昨年度の回答内容を聞きたい。	側溝は市道の道路構造物であり、不具合等は市で対応を検討する。しかし、指摘箇所について調査・検討を行った結果、縦断勾配等特に異常箇所は発見されなかった。落葉等が流下して柵に集積されることがつまりの原因と推測され、清掃等の日常管理は地元でお願いしたい。	まちづくり推進部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。
16	本梅町	高齢化・安全・安心対策について ①高齢福祉対策の充実 地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実	西部地域包括支援センターと本梅町との連携については、西部地区全体も含めて、積極的に行うこととしており、これまでの民生・児童委員はもとより老人会クラブ、地区社協、自治会との密接した連携により広く認知していただき、相談体制の充実を図ります。	健康福祉部長	⑥その他	平成30年度中に民生・児童委員との協議を平成30年11月14日に実施しており、その他、地域包括支援センターが町内の各行事での連携を通じて相談体制の充実を図っています。
17	本梅町	高齢化・安全・安心対策について ①高齢福祉対策の充実 自治会・地区社協・民生委員児童委員等の連携体制の充実	各委員には自治会等と連携しながら支援あたっていただいています。災害時要支援者名簿を作成して地元機関に提供しているので活用をお願いします。また、自治会、各委員等が連携して情報共有に努められているとのことであり、支援センターとの連携や住民周知について協力させていただき、安全安心に努めてまいります。	健康福祉部長	②実施予定	本梅町では、災害時の対応について各関係機関と連携し、情報共有をすすめておられると聞いております。今後もこうした連携体制を充実されるにあたりましては、市としても協力させていただき、安全安心の対策に努めてまいります。
18	本梅町	高齢化・安全・安心対策について ①高齢者福祉対策の充実 高齢者に対する有効な公共交通手段の充実(ふるさとバス利用で、バス停以外の場所での乗降を可能となるよう配慮をお願いしたい)	「公共交通網形成計画」の作成に向けて取り組んでおり、各自治会に対してヒアリングを実施しており、ニーズに対応する計画を実現したいと考えています。フリー乗降は可能ですが、安全性の確保が最優先であり、関係機関と協議、研究していきます。敬老乗車券の有効活用もお願いしたいと考えています。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
19	本梅町	高齢化・安全・安心対策について ②安心・安全対策 犯罪防止・抑制に向け、府県境界等の道路に防犯カメラの設置をお願いしたい。	市内において、防犯カメラ45台が稼働、ドライブレコーダーは101台が登録されています。防犯カメラの補助金は申請に応じて予算の範囲内で設置し、地域防犯力の強化を図っているところです。本梅町からは平成27年度から申請がないため、新たな設置箇所はございません。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
20	本梅町	高齢化・安全・安心対策について② 安心・安全対策 講習街路灯のLED化の補助事業について、数年で完了できる予算化をお願いしたい。	各自治会から多数要望があり、そのすべてに一度に対応することは困難であり。緊急性の高いものから優先的に実施する等の対応をお願いいたします。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。